

[年間連載テーマ] 自律と協働のまちづくりを目指す

8月号のテーマ

役場の仕事を 町民みんなで担う

—「協働」について考える—



保育所運動会のリハーサルに、
保護者役を買って出た
喜茂別高校の三年生と先生たち。
閉校年のボランティア活動は、
小さな子どもの想い出の中に
生き続けるでしょう。
「協働」は、きつとこんなところからも芽生えます。

- 情報共有を深める [プラン策定の現場から③ / 町長の行政報告]
- 町民の広場 [私たちの創作と表現③ / きもべつの文芸 / 健康通信 / 桂院長のちょっと耳寄りな話]
- まちの話題 [写真で振り返る6・7月の出来事]
- お知らせ [町、道、国などからののお知らせ / ほっとインフォメーション]
- すくすく1歳です / まちのカレンダー / 戸籍の窓口 など

きもべつ

広報

2009年
8月

役場の仕事を 町民みんなで担う 「協働」について考える

7月号の特集では、公的サービスの多様な担い手のひとつとして、アウトソーシングの現状と課題、展望について、事例をもとに考えました。各事業体が単独で頑張るだけではなく、互いの連携や組織化に向けて「層の改革が必要であることが浮かび上がってきました。8月号では、自治の多様な担い手ともいえる「協働」について、本町における事例をもとに考えてみます。

I 「協働」って、 どんなこと？

近年、どの自治体でも「協働」の必要性を掲げ、さまざまな事例や概念についての研究が行われています。「協働」というのは、「共同」や「協同」と何が違うのでしょうか。

インターネットで「協働」を検索すると、膨大な事例と研究報告が紹介されます。まだ明確な概念規定はないようですが、おおよそ次のように理解されています。

——協働とは、行政と住民など異なる主体が、地域課題を解決するために、それぞれの特性を活かして対等な立場で協力しあい、ともに働くこと——

この「対等」「協力」のあり方については、様々な理解が見られます。一般的には、①住民が主体で行政が協力するタイプ、②住民と行政それぞれが主体となるタイプ、③行政が主体で住民が参加・協力するタイプなどに分類されます。つまり、地域の特性に見合った方法を柔軟に採用して地

域の課題を解決しよう、という姿勢が基本になっています。

それでは、わが町にはどんな「協働」があるのでしょうか。そして、それはどんな特性と課題を有しているのでしょうか。

II 協働の現場から

しらかば会の「寿のつかい」

町内には、長い期間活動している住民団体がいくつかあります。婦人ボランティアしらかば会



「寿のつかい」をお届けしたお宅で話し込むこともあります。(しらかば会)

は、平成21年に29年目を迎えました。その間、欠かすことなく毎月、独居高齢者に手作りのお弁当を届ける「寿のつかい」活動を継続してきました。お弁当を届け

きたし、愛和の里や喜茂別高校と喜茂別中学校も全員で参加してくれましたけど、来年から高校がなくなりまさらね。地域の農家の若者がもっと参加してくれるといいんだけど、ちょうど農作業で忙しい時期だね。」

今年は、喜茂別高校最後の3年生が一人、先生方と一緒に参加し、地域の方々から「寂しくなる



しらかば会のお弁当づくり

る対象は、男性70歳以上、女性75歳以上、夫婦の場合は80歳以上の方で、現在は毎月100名近くの方に届けています。初代の今川澄子会長から、二代目表谷政枝会長を経て、3年前から山本玲子さんが会長として頑張っています。山本さんにお話をお聞きしました。

「毎月、みんなで作ったお弁当

を届けながら、声を掛けて様子を伺ったりします。みなさんの元気な笑顔を見るのが、とても楽しみです。話し出すと止まらなくて、なかなか離してくれない

方もいらつしゃるんですよ。みなさん、ほんとに喜んでくれます。届けて欲しいという方は他にもいらつしゃいますけど、私たちの人数やお弁当を作る経費の関係で、なかなか対応できていないんです。ですから、対象者でも少し元気な方には待っていただいています。町からいただいている補助金や会費だけでは足らないので、山菜や畑でとれた野菜も持ち込んでいます。30名の会員も高齢化してきたので若い人にも参加して欲しいんですけど、なかなか……。」「世代交代が進まないという話に言葉も湿りがちですが、老人クラブの男性陣が毎回車を運転して配達に協力してくれると、うれしそうです。

双葉地区フラワーストリート 実行委員会による 環境美化活動

双葉地区のフラワーストリート事業は今年21年目を迎えました。が、昨年、サミット協賛事業への協力を機に20年で幕を閉じようかと役員の間で話し合われたそうです。平成元年のふるさと創生

をきっかけに始まったこの事業は、平成2年度には北海道から「緑の環境づくり実践活動表彰」を受け、翌平成3年度からは自治省の「コミュニティ活動活性化地区」に指定され、その後も、国や道、各種団体から様々な賞を受けるなど、地域への貢献が認められてきました。そんな素晴らしい活動なのにどうして？ と思い、この事業のはじめから関わってきた中野忠義さんにお話をお聞きしました。

「この事業を始める前から、地域の人たちは公共の場や家の前などに花を植えていたんです。8軒の農家で花壇クラブというのを作って花の苗を育て、それを植えていました。ふるさと創生ということで町から最初に話があったときは、苗を町が提供するということでした。でも、その申し出は断ったのです。自分たちの力で苗を作るところからやらないと、自発的な気持ちを持続しないと思ったからです。結局、町からは補助金をいただき、毎年それで経費をまかなっていました。今は、人手の確保が課題ですね。私らは高齢化して



双葉フラワーストリート花植え

ねー。」と声を掛けられていました。「こんな素晴らしいふれあいがあったんですね。」はじめて参加したという先生は、花植えの様子をしんみりと眺めていました。

会員の 参加意欲高揚に向けた、 青年交流セミナーの 新たな挑戦

20年間の活動歴を有するきも



青年交流セミナーによる川くだり(H20年8月)

べつ青年交流セミナーは、地域発信型の外向きの活動から地域の足元を見つめ直す内向きの活動に軸足を移してきました。

今年4月の総会では、会員の参加意欲を刺激するため、互いの交流を深めることを目的とした新たな事業と、会員向け広報の発行に取り組むことが決定されました。地域活動に取り組む若い現役世代の組織である交流セミナーの今後について、事務局の白川博順さんにお聞きしました。

「会員が100名を越える大きな組織になっているけど、実活動に参加できるのは、決して多くはありません。運営委員であつても、本業や様々な事情で常時参加することはなかなか難しいんです。会員の多くは子育て世代ですし、共稼ぎがほとんどです。家庭の状況から言って、活動に頻繁に参加できないのも仕方ないと思います。そのなかで、参加できない会員に対して、セミナーが今何に取り組んでいるのか、どのような考え方で活動をしているのか、という情報を共有するこ

とが大切だと考えています。そこで、会員向けの広報を作ることにしたのです。それと今年度は、自分たちの交流と問題意識の共有に向けて、一緒に楽しみながら作業ができる活動をしたと思っています。たとえば、みんなでそばを植えて収穫し、そば打ちをしながら交流を図るとか。活動に参加する意欲をみんなで高められるといいなと思っています。」

ま

ちの屋台骨を支える次代のリーダーとして、家庭と地域活動をいかに両立させるか。青年交流セミナーの挑戦が続きます。

活動の復活に向けて 準備を始めた、

観光ボランティアの会

5年ほど前、観光協会が廃止され、それまでの事業が商工会などに引き継がれたりアウトソーシングされたりして、観光事業の枠組みが大きく変動した時期に、住民主体で観光案内活動を行うことを目的に、50名ほどの有志によつて「観光ボランティアの会」が結成されました。ゴールデンウィークには中山峠の観光情報セ

ンターにボランティアスタッフが詰めて、町内や近隣の観光ポイントの説明をしたり、パンフレットを手渡したりしました。おそろいのロゴ入りウェアを調達するなど経費が生じたため、町から補助金が出ることになりました。しかし紆余曲折の中で、その後活動は停滞したままです。最近、新たな活動の場を創設することで観光ボランティアの会を復活させようとしている吉見啓一さん、お考えをお



観光案内窓口で活躍する
観光ボランティアの会のスタッフ

聞きました。

「羊蹄山麓7町村の商工会と商工会議所が2年前から進めている観光ガイド育成事業が、ヒントになりました。私も受検しましたが、町内で受検し合格した人たちを中心に、今度市街地にできる郷の駅の情報センターで、ボランティアの観光ガイドができないかと思っています。また構想段階ですが、町の観光振興に何がしかの貢献をしたいのです。」活動が停滞したことの総括を受けて、新たな挑戦が始まるうとしています。

持続可能な 協働に向けて

NPOきもべつWAOの 新たな挑戦

今年の5月から、NPO法人きもべつWAOを中心に、エキノコックスの駆除活動が始まりました。『広報きもべつ』でも詳しく紹介しました(※1)が、住民有志が行政に提案して始まった事業です。住民が活動のボランティア組織づくりを進め、経費については行政が補助する、という連携に基づく

活動です。

従来から住民主体の活動を進めてきたNPO法人きもべつWAO代表の山本浩一さんに、活動の意義についてお聞きしました。

「今年から5年間、毎月1回ベイト(※2)を散布し続けるこの活動は、WAOのメンバーだけでは持続が困難です。多くの住民が自分の都合がつくときにだけ交代で参加する方式で、活動を開始しました。生活や仕事と折り合いがつけられる範囲で、少しずつ地域活動に参加して欲しいと思っています。」また、ベイトの製造をニセコ町など近隣他町の住民活動と連携して行なうことで、個々人の負担を軽減する狙いもあるといま

持続可能な協働に向けて

これまで紹介した様々な住民活動の成果をもとに、共通の課題である参加者の世代交代を促す工夫が求められます。きもべつWAOの新たな挑戦は、世代交代を促す可能性のある試みの一つといえそうですし、リタイア直後の60歳世代の積極的な参加



ベイトづくりに集まったさまざまなまちの活動参加者



ベイト散布の様子

も期待されます。また子育て世代への支援として、本人や家族の努力を支える「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」(※3)の政策が、事業所や行政に期待されます。そして何より、青年交流セミナーの代表山岸康仁さんの言葉が、活動の相互支援に向けた強い意志を感じさせました。「他の活動団体が、たとえば高

齢化で人手不足になったというなら、交流セミナーができる範囲で参加しますよ。お互い出来るところで協力し合おうというのが、セミナーの活動理念ですから。」住民と行政が地域課題を解決するために協力し合う協働を今後の組織を超えた相互の連携が、大いに期待されます。

【※1】『広報きもべつ』平成21年3月号の特集

【※2】キツネの体内からエキノコックスを駆除する虫下しを含んだ餌のこと

【※3】平成19年に厚生労働省が打ち出した少子化対策の考え方で、子育ての様々な段階で労働と生活の兼ね合いを自由に選べる社会の仕組みを実現することが、安心して子育てができる必須の条件である、ということです。

その3

ワークショップからはじめる 自律プランづくり

第2回 「6月30日」 自律プラン作成委員会

最初に、第1回の作成委員会で要望のあった人口推計と財政状況について、事務局より資料に基づいて説明がなされました。

第2回作成委員会では、「産業経済」と「教育福祉」の2部会を設置し、会場を分けてそれぞれがワークショップ（※）を行いました。部会のテーマに沿って、各自が自由に意見を出し合い、今後の議論



ワークショップの様子

と検討の方向性を探ります。その際、委員各自からあらかじめ提出されていた提言についても話し合いました。各部会のワークショップは2時間近くに及び、様々な意見が飛び交いました。整理された内容は全体会議の中で発表され、さらに意見が出されました。

産業経済部会のワークショップ

経済産業部会のワークショップでは、安心できる生活基盤として誰もが稼げる地域経済産業を築くについて、様々な意見が出されました。それらの領域を農業と商工業さらに一般町民・行政と3分し、それぞれに、モノ、ヒト、カネの側面から考える2次元の枠組みが作成され、また、それらに関する意見交換の場や仕組みづくりの必要性も示されました。

教育福祉部会のワークショップ

教育福祉部会のワークショップでは、高齢者にあたたかいまちを目指して、健康寿命を延ばすまじづくりを進める方策について、様々な意見が出されました。そのため、具体的な案として、高齢者が自由に集まって交流できる夢のある場づくりと、高齢者の人生経験を生かして、仲間を募って子育て支援に参加することなどが出されました。



ワークショップの様子

今回は、それぞれの部会から出された構成図を具体化するため、さらに意見を出し合うこととなりました。

第3回 「7月9日」 自律プラン作成委員会

前回の作成委員会に引き続いて、内容を具体化するためのワークショップが、部会に分かれて行われました。それぞれのテーマに沿って、2時間にわたり課題や問題点、方策のアイデアなどが出されました。

継続されたワークショップ

産業面では、特に農業における新たな人材導入の方策やその可能性について、活発な意見交換がなされました。

れました。しかし一方では、教育方面についてあまり具体的な議論ができなかったことなど、課題も残りました。

全体の確認事項Ⅱ次回に向けて

各部会の成果を発表しあった後に、全体で意見交換がなされ、いくつかのことが確認されました。

- ① 基本的な二つのテーマ
- ② 安心して暮らすための稼ぎ方
- ③ 健康寿命を延ばす仕組みづくり

②二つのテーマに共通する

3つの視点

- ① 安心して暮らせるまちづくり
- ② 住民一人ひとりが生き生き暮らせるまちづくり
- ③ まちづくりを継続できる基盤と仕組みづくり

これらのテーマと視点をどのように具体化するかを次回以降話し合うこととなりましたが、そのためには、3つの視点をわかりやすく簡略に表現すること、これまでこれらのテーマと視点が充分に実現できなかった原因や背景、その解決に不可欠な行政財政改革などについて、問題点を出し合うこととなりました。

※参加した住民が各々の立場を越えて自由に発言し、その内容を整理しながら合意形成を図る手法。

行政報告

6/25

第2回定例町議会

菅原章嗣町長から、 4件の行政報告が なされました。

1 農産物の生育状況について

5・6月の低温、多雨、少日照といった気象状況を受け、アスパラガスにおいては、5月に霜害が発生し、全町的に被害が及びましたが、マイナス気温の時間が短かったことから、昨年のような刈り取りを要する圃場は5haにとどまり、全体の被害は平年収穫量の1割程度の減と見込んでいます。

またこの低温の影響により、早出し馬鈴薯やブロッコリーにおいても5日から7日の遅れ、メロン、トマトは、長雨による日照不足から玉の肥大不足や着色の遅れが見られ、平年に比べ1週間程度の遅れとなっています。

今後は、遅れについても回復していくものと予想しています。

2 開発行政要望について

国道230号の道路改良事業は、本年度をもって完了する予定です。国道276号の道路改良事業と中山峠地区においては、早期の全面整備についてさらに要望を行います。本年度、福丘地区にあります弧線橋撤去とS字カーブの線形緩和について事業着手

が決定され、工事期間に使用する仮道の設置が行われる予定となっており、上尻別・尻別地区では、冬期間の風雪緩和のための防雪柵が設置されています。路面損傷が激しい双葉地区においては、損傷箇所の部分補修が実施されましたが、今後全面的な補修について検討が行われます。

3 札幌市との連携について

6月24日に札幌市上田文雄市長と、まちづくりの課題について意見交換を行う機会を得ました。上田市長は、近隣市町村との連携強化に努めています。今回の意見交換において、上田市長からは「後志と石狩ということを支庁管内は違いますが国道230号でつながり、双方の住民が中山峠を挟んで、行き来きする関係にあり、両市町の連携は双方の今後のまちづくりにとって、重要な政策課題です」との認識をいただき、今後のまちづくりの方向性について共通理解を深めることができました。具体的な取り組みについては、両市町の部課長級により課題を整理し、特に札幌市南区を念頭にいった新たな関係づくりを築き上げるようにするものです。単なる物産やイベントの交流に止まらない、都市と小規模自治体の新たな連携モデルとなるような取り組みにつなげていきたいと考えています。

4 北海道大学 公共政策大学院との 連携協定について

6月3日に北海道大学公共政策大学院との連携協定書を締結しました。これは、直面している過疎化、高齢化、財政難等の共通課題に対して、多くの事例、研究成果を持つ北海道大学公共政策大学院との間で、次の4点で連携を進めていくこととしています。

- 1 点目は、本町の「まちづくり自律プラン」への協力として、大学院の山崎幹根教授に、今後のプラン作成等について助言をいただくことです。
- 2 点目は、本町の地域産業の育成や地域経済の循環、住民の健康面での連携を進めていきます。秋には健康科学を担当する河口教授を中心とした研究員による生活習慣病等の町民健康診断が実施される予定となっています。
- 3 点目は、本町と南区をはじめとした札幌市との広域連携のサポートです。

4 点目は、本町のまちづくりの取り組みを大学院生や教授らがフィールドワークにより研究を進めることとともに、自律プラン策定委員や職員の北大での人材育成を含めた研修を行う相互の発展を図ろうというものです。

7/7

第6回 臨時町議会

菅原章嗣町長から、 1件の行政報告が なされました。

1 クレードル興農における ホワイトアスパラガス 原料集荷実績について

クレードル興農では、例年、喜茂別、伊達、三川工場で140トン程度の原料ホワイトアスパラガスが集荷されていますが、その戸数は91戸、面積は35.5町歩で、その半数以上を由仁町三川地区産が占め、生産者の高齢化に伴い、総生産量は減少傾向にあります。

ちなみに、本町の生産者は29戸、10町歩の出荷契約数となっており、毎年平均30トンの出荷量となっています。本町の生産農家の反当りキロ数は300キログラム強で、他の2市町の平均と比べ100キログラム程度少ない出荷量となっており、生食用として販売されている量が、相当あるものと予測しています。

ホワイトアスパラガスは、クレードル興農の特色のひとつであり、本町の歴史の一部として大切にしていかなければならないものです。今後は、クレードル興農の経営戦略を伺いつつ、ホワイトアスパラガス対策を本格的に検討する必要があります。

私たちの創作と表現

第三回

きもべつ和太鼓クラブ

「はい、今度は16拍。みんな、周りの音もしっかり聴いて、合わせるんだよ。」コン、コン、コン…中学3年生のリーダーが、バチで拍子をとります。そして一斉に、ドン、ド、ド、ドン…。「合っていないよ！弱い音のときも遅れないように、隣の音を良く聴いて！」

毎夕水曜日の夜、農村環境改善センターの多目的ホールで、和太鼓クラブの練習が行われます。比羅岡の笠巻裕司さんが10数人の小中学生をまとめ、緑町の吉田ひろみさんが技術指導をしています。小学2年生から中学3年生までの子どもたちの中で太鼓歴の長い二人が、この日、他の子たちに教えていました。10余年の活動となるきもべつ和太鼓クラブのレパートリー



和太鼓の練習風景

は、「羊蹄太鼓」と「二セ」連山太鼓の二曲。今度、新しく「山彦太鼓」に挑戦を始めました。フリーズごとに短く切つて、みんなに合わせて練習ですが、なかなか難しいようです。しかも、A、B、Cなどいくつかのパートに分かれて音を重ねていくのですから、子どもたちも吉田さんや笠巻さんなど大人の指導者も、真剣な表情で何度も繰り返

返します。そういえば、練習が始まるまでの時間、ビーで待っていた子どもたちは、並んで座って自分の膝を叩いてリズムを練習していました。「私Bのパートやるから、Aのパートやつてね。」パタ、パ、パン、パ、パタ…。笑顔を交しながらも真剣です。

小中学校の合奏では、みんな指揮者を見て音を合わせます。でも、和太鼓には指揮者がいません。喜茂別高校ハンドベル部も、指揮者なしで4人が互いに目で合図しながら音を合わせる緊張感にあふれた演奏でした。和太鼓のアンサンブルも、きつとみんなの心を通い合わせることが、素晴らしい表現に結びつく秘訣なのでしょう。

そんなとても難しい練習に取り組んでいる、きもべつ和太鼓クラブ。この秋に行われる喜茂別高等学校閉校記念式典で新曲「山彦太鼓」を披露できるようにと、真剣な練習が続きます。

きもべつの文芸

※スズラン俳句会※

ほろ苦き青年の恋螢の灯
蝉しぐれ樹々の葉影の濃さ淡さ
まなうらに大空の青大昼寝
身をいとふ余生きまなな昼寝かな
蜩や道の振幅脈はしく
螢火や光りで告ぐる恋の宿
工事燈夜は螢火リズムあり
昼寝して母の手枕夢の中
音一つ無くて石屋の昼寝かな
藤寝椅子据ゑていつしか深海魚
昼寝児のやはきこぶしに託すゆめ
神々の象と思ふ螢火よ

※喜茂別短歌会※

嬉しきは子よりのギフト大切に
机に飾る手製写真立て
麓華苑の誕生会は七人で
皆元気に若やぎて見ゆ
桜咲きつつじ牡丹と咲きつぎて
庭あざやかに夏つげてをり
物忘れ自慢し合ひて我と友
ちよつと心配老後の二人
野を渡る風はむらさき馬鈴薯の花
畑一面に千のさざなみ
あしひきの羊蹄山のすそ広く
緑日毎に広がりて行く

吉見 啓一
鈴木 章実代
小出 盛子
水上 梅子
佐藤 紅葉
向 三郎
佐藤 翠虹
三間 登志
福井 富子
高谷 羽瑠子
井上 久子
辻口 秋草子

三間 恵子

渡辺 志げ

栄花 豊

桑原 博美

さとうとみえ

前川 喜一

健康通信

介護予防の取り組みについて

町民の皆さんの中に「もし介護が必要になったらどうしよう」という不安を持っている方はたくさんいます。この誰もが抱く不安を予防・回復する取り組みが、「介護予防」です。

なぜ介護予防が必要なのでしょう。年齢とともに、些細なことがきっかけで、体調を崩していくこ

とがあります。「自分はまだ元気だから必要ない」と思う方が多いわけですが、いつまでも健康で自分らしく過ごすためには、人との交流や身体を動かす習慣を身につけておくことが大切です。

本町でも、社会福祉協議会と連携して介護予防事業を実施しています。「みんなの介護予防教室」、「いきいき体操クラブ」です。「みんなの介護予防教室」は、ふれあいセンター・鈴川集落センター！双葉克雪センターの3カ



いきいき体操クラブ

所で、月1回月曜日に一般高齢者を対象に行っています。「いきいき体操クラブ」は毎週1回ふれあい

センターで、火曜日グループと水曜日グループに分けて実施しています。どちらの事業も、運動を中心として口腔機能や栄養バランスについて総合的に介護予防を行っています。

期日や時間等詳しい内容につきましては、包括センターへお問い合わせください。包括センターは、高齢者を中心とした総合相談窓口としての機能を持っていますので、何かありましたら遠慮なくセンターをご利用ください。スタッフ一同お待ちしております。

■健康推進課／東原弘行
☎31-2940

ちょっと耳寄りな話

第5話

今回は、BMIの値^{*}が肥満を示しているからといって、必ずしも病気の兆候を示して

厚生クリニック 桂院長の



いるわけではない、という話をしました。BMIには年齢差もあります。たとえば、お年を召した方はよく、「私ら、これからモデルになるわけじゃないから」とおっしゃいますが、高齢の方は多少太り気味のほうが良い、という説もあるのです。前回お話したように、むしろ少しづつ太っていく^{*}変化。が見られるときは要注意、ということです。それでは、肥満傾向が見られる場合どうすればいいのかということです。答えは簡単です。食事を減らすことです。どの程度減らせればいいのか、と質問が出そうですが、食事の量と肥満度の間にはっきりした相関関係はわかっていないのです。ですから、よく言われるように、「腹八分目」、つまりこれまでより少し減らしましょう、ということなのです。これなら、実行できますよね。

ところで、体重は、朝起きて着替えの前トイレに行って食事をするとか、同じ条件で量ってくださいね。特に食事の前と後では、体重は食べた分だけ増えますから。

※BMI値＝
体重[kg]÷(身長[m]×身長[m])
BMI値が22で標準、18.5～25の間が普通体重といわれています。皆さんも計算してみてください。

健康づくり係よりお知らせ

喜茂別町・北大連携 健康プロジェクト 動脈硬化の【健康診断】を実施します！

平成21年8月27日(木)・28日(金) 8:30～16:00

■場所：農村環境センター

(検査時間は30～60分程度)

■対象：成人している町民

■料金：無料

※完全予約制

普通の健康診断とは違った、動脈硬化の進行具合やからだへのストレス強度などさまざまなことがわかる検査です。

この機会に、是非、ご自身の健康づくりにご活用ください。

保健師からのメッセージ できることから はじめる健康づくり

家事や趣味で日ごろからよく体を動かしている人は、骨量が多いという報告があります。掃除、洗濯、庭仕事、窓拭き、買い物などの家事は、意外に運動量が多く、足腰の訓練に役立ちます。コツは動きを大きくすること。家がきれいになり、骨も強くなって一石二鳥です。

運動をすると筋力やバランス力も養われ、骨粗しょう症で問題になる転倒による骨折の予防にもなりますね。

体を動かす機会を少しずつ増やるといいですね。



中沢友美保健師

写真で振り返る 6・7月の 出来事

6/17(水) 双葉フラワーストリート花植え



今年で21年目を迎える、双葉フラワーストリート。植栽柵が続く2キロ近い沿道は、朝早くから地域住民の方々によって準備が整えられています。柔らかに起こされた土に、格子状の小さな穴があけられていました。参加した人たちは、その穴に手際よく花の苗を植えていきます。今年も、地域の方々や双葉学園、愛和の里と一緒に、喜茂別中学校の全校生徒と、喜茂別高校から最後の参加となる山本真代さんの姿も見られました。

7/5(日) 教育長杯パークゴルフ大会

夏日の強い日差しの中、町民公園パークゴルフ場で、教育長杯パークゴルフ大会が開催されました。平成3年から続いているこの大会は、当初パークゴルフの普及と健康づくりが目的でしたが、今日では、プレイを楽しむことや技の向上が目的となっているようです。今年は昨年より参加者が多く、40名のエントリーです。競技の結果、男性1位菅原良克さん(97)、2位大宮忠さん(101)、3位森玄一さん(103)、女性1位熊木富子さん(101)、2位栄花タケ子(102)、3位押切ふみ子さん(103)でした。



6/15(月) 喜中陸上競技大

予定していた6月14日(日)が雨天となったことから、翌日に開催された喜茂別中学校の陸上競技大会。この日も時折小雨が降って、午後の開始時間が30分以上遅れるハプニングもありました。競技種目は、徒競走、砲丸投げ、走り幅跳び、走り高跳びが中心ですが、最後に行われたリレー競技では、走り終わった選手の表情にそれぞれの充実感がみられました。タイムの測定などにPTAが取り組むのも、恒例の光景です。



6/20(土) 尻別川クリーン作戦



この日、尻別川流域では、下流域の蘭越町と上流域の喜茂別町の2箇所でも、同時に尻別川クリーン作戦が行われました。5回目となる当町では、主催者を代表して教育委員会の麻生隆教育長からあいさつがなされ、早速3つのグループに分かれて、大町から留産方面に向かい、河川敷と国道276号沿道のゴミ拾いが始まりました。河畔では、水質測定キットによる結果が紹介されましたが、COD、アンモニア、リンともに良好でした。「今年はゴミが少ないね」そんな会話も、あちこちで聞かれました。

7/4(土) 喜茂別保育所運動会

第51回の喜茂別保育所運動会が開催されました。前日には、喜茂別高等学校3年生の山本真代さんや先生たちがボランティアでリハーサルに参加したり、愛和の里の皆さんが広場の整地をしてくれたり、地域みんなの応援で行われている、町を挙げての大運動会です。園児のみなさんが一所懸命走ったり、保護者と一緒にゲーム、祖父母や卒園児の種目もあって、植木典子先生の名アナウンスに乗って、今年も会場のちびっ子広場は終日大賑わいでした。



7/11(土)~12(日) 選抜少年野球大会

第17回喜茂別町長旗、第9回喜茂別ライオンズクラブカップを争う選抜少年野球大会が、町営球場で開催され、後志管内と札幌から8チームが参加し、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。

初日第2試合で留寿都野球スポーツ少年団と対戦した喜茂別野球スポーツ少年団ファイターズは、後半で大量点を挙げて逆転し、9対6で勝ちました。翌日の準決勝では、対戦した真狩野球スポーツ少年団に12対1でコールド負けを喫しましたが、大勢の応援団からあたたかい拍手が贈られました。



6/6(土) 鈴川小学校大運動会



運動会シーズンの幕開けは、開校101年目を迎えた鈴川小学校の大運動会です。「限界のさらに上を目指せ!」をスローガンに、全校児童12名が全ての競技で自分を超越する記録に挑みます。和太鼓では、1年生の松本涼君が始めてみんなと一緒に2曲演奏しました。また、一輪車のパフォーマンスでは、各自がまだ成功していないプレイにも挑戦しました。鈴小の運動会は、日々挑戦を重ねる姿をお披露目し、地域のみんながそれを激励する行事となっています。

6/13(土) 喜茂別小学校開校110周年記念運動会



全校児童71名が「120%の勇気!」を目指した開校110周年記念運動会が、喜茂別小学校で挙行されました。今にも雨が降りそうな風の冷たいグラウンドで、紅白の熱戦が続きます。昼食後のスクールバンドは、運動会の花形。その見事なパフォーマンスが、聴衆の視線を一身に浴びます。同点で迎えた最後の種目全校紅白リレーは、例年以上に応援が盛り上がりました。そしてその結果も、同点!優勝旗を紅白で一緒に握った二人の笑顔が、眩しく輝いていました。

6/14(日) 国道駐車帯で花植え



自然の木々も花々も、一斉に彩を豊かにする北海道の6月。私たちの町は、家の庭先も街並みも、そして郊外の道路も、自然に負けじと彩を増します。その陰には、町民の皆さんの様々な努力があります。商工会や建設協会、青年交流セミナー、観光ボランティアの会、愛和の里、WAOなどの参加によって、国道230号の尻別橋近くの駐車帯、国道276号相川のビューポイント駐車帯などで、花植えが行われました。今年は、多年草のオダマキも加わりました。

6/8(月) 老人クラブ福寿会が花植え



老人クラブ福寿会が、ふれあい福祉センターや厚生クリニックの周り、ちびっ子広場などの花壇に花植えを行いました。みなさんそれぞれの体力に応じて役割を分担しながら、手際よく花の苗を植え込んでいきます。健康で元気な皆さんが植えた花の彩りは、福祉や医療で訪れる方々の心を優しく包み込むことでしょう。作業が終わった後は、近くの広場でバーベキューを楽しみました。

6/12(金) 後志管内商工会女性部研修会



後志管内の商工会女性部が一堂に会して行う研修会が、今年は喜茂別町の農村環境改善センターで催されました。牧場タカラの斉藤久さんの講演を聴いた後、家族が支えあう牧場タカラの新しい酪農の取り組みを紹介した、NHKのテレビ番組をビデオで学びました。

研修の後は、それぞれの女性部が工夫を凝らしたアトラクションに笑いがはじけ、笑顔と歓談が会場を満たした会食懇親会となりました。

町からのお知らせ

地上デジタルテレビ放送（地デジ）の受信について

3月30日から、喜茂別中継局と南喜茂別中継局から地上デジタル放送が始まっています。電波の状況により地上デジタル放送を受信できない地域やご家庭では、本年度、町が光ファイバーを敷設しますので、地上デジタル放送を受信することが可能となります。

みなさまのお住まいの地域が難視聴地域であるかどうかによって地上デジタル放送を受信するための準備が異なりますので、次の点に注意して対応を準備してください。

Q これまできれいに受信できていたお宅では・・・

A これまでのUHFアンテナでそのまま受信できますので、地上デジタルテレビ放送に対応できる受信機などの機器を用意することで、地上デジタル放送を受信できます

Q これまできれいに受信できなかったお宅では・・・

A 難視聴地域の場合は、本年度敷設する光ファイバーの工事が完了することにより地上デジタル放送が受信できます。その場合、地上デジタルテレビ放送に対応できる受信機などの機器を用意する必要があります

ます。

Q 地上デジタル放送が見られるテレビと見られないテレビの区別は・・・

A 地上デジタル放送が見られるテレビには、ロゴマークがついていますので、区別がつきます。このロゴマークがついているテレビは、そのまま受信できます。ロゴマークのついていないテレビでも、デジタルチューナーやデジタルチューナー内蔵の録画機器を買い足せば、見ることがができます。

※お問合せ先：役場総務課企画情報係
電話 33-2211

住民参加型総合評価の実験結果

6月6日に喜茂別町役場庁舎2階会議室で行われた、国道230号市街交差点工事入札に掛かる「住民参加型総合評価」の結果が、7月14日に公表されました。

これは、既に『広報きもべつ』7月号の「お知らせ」でご紹介しましたように、6月6日に行われその場で実質的に公表された結果について、その後一定の手続きを経て正式に決定されたものです。

公表された結果は、小樽開発建設部および町のホームページに詳しく掲載されています。

この報告によると、工事の品質が高いこと、工事期間が短縮できる工法を

導入したこと、地域事情に精通していること、施工中の安全や環境対策

住民の様々なニーズに対応する住民相談コーナーの設置などが、高得点を得るポイントとなっています。



この住民対応の相談コーナーは、伏見地区に設置された工事事務所隣に設置されました。

※お問合せ先：役場産業振興課
電話 33-2211

納税期限のお知らせ

- ・町道民税（第二期）
- ・国民健康保険税（第三期）
- 納期限：8月31日
- 期限内に納めましょう。
- 納税には便利な口座振替がおすすめです。
- ※お問合せ先：役場税務課納税係
電話 33-2211

剣道大会の結果

■第37回道新杯少年剣道大会
7月5日に小樽市総合体育館で第37回道新杯少年剣道大会が開催され、後志管内189名の小中学生が学年別8部門に分かれ、個人戦により試合

が行われました。喜茂別剣道少年団からは、13名が各部門に出場しました。大会の結果は、次のとおりです。

- 小学生一、二年男子の部
準優勝 東原正和くん
- 小学生三、四年女子の部
優勝 田嶋萌々子さん
- 中学生男子の部
準優勝 松田廉くん
- 中学生女子の部
第三位 守山有香さん

第24回全後志剣道段別選手権大会

7月12日、喜茂別高校体育館で第24回全後志剣道選手権大会が開催されました。喜茂別剣道連盟から、中学生5名、一般9名が出場しました。

- 中学生男子の部
準優勝 松田廉くん
- 三段の部
優勝 五十里啓佑さん
準優勝 山本望さん
三位 堀浩和さん
- 一般女子の部
三位 岩佐敦士さん
- 五段の部
準優勝 東原弘行さん
三位 田嶋洋二さん、大元真さん

中体連後志・小樽卓球大会の結果

7月12日、泊中学校で行われた中体連後志・小樽卓球大会の全道代表決定戦で、喜茂別中学校の女子が団体優勝しました。

北海道からのお知らせ

多重債務相談巡回窓口（無料）を開設します

多重債務問題の解決と健全な社会の形成に向けて、財務省北海道財務局と北海道後志支庁との共催により、下記の日程で多重債務にかかる相談窓口を開設しますので、事前に電話でご予約の上、お気軽にご相談ください。相談費用は無料。秘密は厳守します。

■日時

8月18日（火）午後1時～午後5時
8月19日（水）午後9時～午後3時

■会場 北海道後志合同庁舎内1号会議室（倶知安町北1条東2丁目）

※お問合せ先 財務省北海道財務局小樽出張所（財務課金融担当）
電話 0134-2314103

ご家庭にいらっしゃる

栄養士の皆さまへ！

倶知安保健所では、地域で健康づくり事業等に協力していただける栄養士さんを登録する「在宅栄養士バンク登録事業」を行っています。

ご家庭におられる栄養士さんのご協力を願います。

●募集期間：通年 ※土日祝日・年末年始を除き9時～17時

●必要な資格：管理栄養士・栄養士
●関心のある方は、お気軽にご連絡く

きもべつ 119

火災	6月	累計	前年同期
建物火災	0件	0件	1件
車両火災	1件	1件	0件
その他	0件	1件	2件
合計	1件	2件	3件

救急	6月	累計	前年同期
急病	18件	79件	58件
一般負傷	3件	58件	79件
交通事故	3件	13件	20件
その他	3件	11件	20件
合計	27件	161件	177件

民謡の大会で亀岡憲一さんが優勝
北海道文化団体協議会が主催する、第33回道民芸術祭後志郷土芸能大会兼、第35回後志民謡決勝大会が、7月12日、ニセコ町民センターで開催され、後志管内から出場された19名のなかで、喜茂別会の亀岡憲一さんが「長者の山」を謡い、優勝されました。

後志地区1位チームとして出場した喜茂別中学校は、後志地区3チームと小樽地区1位チームの4チームの中で全道大会への出場権を賭けて総当たり戦を行い、喜茂別中学校チームが全勝し、初の全道大会の切符を手にしたものです。また、女子個人戦では、富田光稀さん（三年）が全道大会の出場権を得ました。

全道大会は、7月31日から8月2日に、余市町体育館で開催されました。

建設工事等入札見積・契約の結果

工事や委託業務などの契約結果は、次の通りです。（平成21年4月27日～6月30日）
予定価格250万円以上について掲載します。（下段の表）

工事名等	契約相手方	予定価格	契約金額	工期
まち交／町道2条通り線改良舗装工事	日道・北海建業（※1）	120,613,500円	115,395,000円	H21.4.28～H21.10.30
市街地区簡易水道水道メーター交換工事	梅澤設備工業(株)	4,378,500円	4,147,500円	H21.5.14～H21.7.31
市街地区簡易水道水道メーター交換工事その2	(株)北海建業	4,599,000円	4,305,000円	H21.5.14～H21.6.26
町道舗装等修繕工事	橋詰建設(株)	2,824,500円	2,677,500円	H21.5.14～H21.6.30
市街地区簡易水道配水管移設工事(町道2条通り線)	梅澤設備工業(株)	7,371,000円	7,035,000円	H21.5.21～H21.10.31
旧焼却炉除却調査委託業務	日本技術開発(株)札幌支店	3,759,000円	2,310,000円	H21.5.20～H21.8.10
まち交／郷の駅きもべつ建設工事（2期工事）	(有)富田工務店	35,364,000円	31,815,000円	H21.6.16～H21.10.16
喜茂別町情報通信基盤整備工事（※2）	東日本電信電話(株)北海道支店	365,284,500円	363,300,000円	H21.6.30～H22.3.10
まち交／多目的センター建築主体工事（※2）	瀬尾・日野浦・富田（※1）	173,229,000円	169,890,000円	H21.6.26～H22.1.29
まち交／多目的センター機械設備工事	梅澤・北海建業（※1）	47,701,500円	46,095,000円	H21.6.26～H22.1.29
まち交／多目的センター電気設備工事	表谷・喜茂別（※1）	36,771,000円	35,385,000円	H21.6.26～H22.1.29

※1：経常建設共同企業体

※2：仮契約後本契約

「まち交」＝まちづくり交付金事業のこと

※お問合わせ先：役場総務課財政係 電話 33-2211

ださい。

※お問合せ先 北海道俱知安保健所

健康推進課 健康増進係

電話 0136・23・1952

食中毒を防ぎましょう

食中毒とは、食中毒菌などがついている食品を食べて、下痢、腹痛、嘔吐、発熱などの症状を起こす病気です。毎年、カンピロバクター属菌、サルモネラ、ブドウ球菌などの食中毒菌やノロウイルスによる食中毒が発生しています。

食中毒を予防するには、食品を食中毒菌やノロウイルスによる汚染から守ることが大切です。そのためには、食品の取扱について、三つの原則を守りましょう。

●つけない（清潔）

食品も人も清潔が第一です。トイレの後や調理を始める前は、必ず手を洗いまししょう。

食器やふきん、まな板、スポンジ、タオルなどの調理器具はこまめに洗いまししょう。熱湯や消毒薬で消毒することも大切です。

●ふやさない（迅速又は冷却）

多くの食中毒菌は、食品中で増殖することにより食中毒を起こします。

細菌が増殖するには、ある程度の時間が必要です。また、細菌は10℃～65℃の温度帯で活発に増殖します。

食品を買ってきたら室温に長く放置しないで、冷凍・冷蔵庫に保存するか、速やかに調理しまししょう

●やつつけろ（加熱と殺菌）

食中毒菌は熱に弱く、70℃以上の加熱でほとんどの菌は死んでしまいます。なお、ノロウイルスは85℃以上で1分以上の加熱が有効です。

■家庭でできる食中毒予防6つのポイント

―家庭で行うHACCP（宇宙食から生まれた衛生管理）―

●ポイント1 〈食品の購入〉

消費期限などを確認し、新鮮なものを購入しまししょう。

●購入した食品は、肉汁や魚などの水分が漏れないようにビニール袋などに分けて包み、持ち帰りまよう。

●生鮮食品など冷蔵や冷凍などの温度管理の必要な食品は、最後に買い、寄り道せずに持ち帰りましよう。

●ポイント2 〈家庭での保存〉

●冷蔵庫や冷凍庫の詰めすぎには、注意しまししょう。目安は、庫内の容量の7割程度です。

●冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫はマイナス15℃以下が目安です。

●肉や魚などは、ビニール袋などに入れて他の食品に肉汁等がつかないようにしまししょう。

●ポイント3 〈下準備〉

●包丁やまな板は、肉用、魚用、野菜

ほっとインフォメーション

「保健師と語ろうおしゃべりクリニック」に、気軽にお出かけください

4月から始まった「保健師と語ろうおしゃべりクリニック」が、好評です。毎週、厚生クリニックの2階ロビーを会場に、健康のことや暮らしのことなど、どんな話題でも保健師と「おしゃべり」ができます。気軽な語りいで日ごろのストレスを発散することも、立派な健康づくりです。毎回、保健師がみなさんのご参加をお待ちしています。包括支援センターの桜井勝義課長に、目的などについて聞きました。

「おしゃべりクリニックは、町民の皆さんの医療、保健、福祉、介護に関する総合的な相談窓口事業です。特に、一人で生活している高齢者への支援は、行政の枠を超えた連携が必要と考えています。クリニックに来ることで外出と交流の機会を増やしていただき、生活の中で困っていることなど、どのようなことでも話せる場にしたというのが趣旨です。高齢の方や一人で生活している方は、周りの人や行政のお世話にならないようにと、頑張りすぎておられる方が多く、どのようなことに困っているのか、私たちには



把握できていないのが現状です。頑張りすぎずに、気楽にきていただき、いろいろなお話聞かせて欲しいと思います。全てを私たちが解決することはできませんが、より良い方法を一緒に考え、支えあう環境を整えていきたいと考えています。保健師にとりましても、皆さんからお話を聞かせていただくことは、とてもいい勉強の機会になっています。」

取材におうかがいした日は、保健師の方々に混じって、桜井課長も来訪された方々のお話を聞きながら、ノートにどんなメモを書き込んでいます。保健師のみなさんは、他の来訪者の方々から真剣な表情で話を聞きながら、ときどきくつろいだ笑い声がロビーを満たしていました。

■開設日は、広報きもづの「まちのカレンダー」をご覧ください。

※お問合せ先 包括支援センター

電話 31・2940

用とできるだけ別々とし、使い分けましよう。生の肉や魚を切ったあとは、包丁やまな板を洗い、さらに熱湯をかけて消毒しまししょう。

●冷凍食品を室温で解凍するのはやめ、冷蔵庫や電子レンジで行いましよう。

●冷凍した食品は使う分だけ解凍し、解凍後はすぐ調理しまししょう。

●生の肉、魚、卵を取り扱った後は、すぐに手を洗いまししょう。

●ポイント4 〈調理〉

●加熱して調理する食品は、十分に加熱しまししょう。

●料理を途中で中断するときには室温に放置せず、冷蔵庫に入れましよう。

●ポイント5 〈食事〉

●食前には、必ず手を洗いまししょう。

●調理前の食品や調理後の食品は、室温に長く放置してはいけません。

●ポイント6 〈残った食品〉

●残った食品は早く冷えるよう浅い容器に小分けして保存しまししょう。

●残ったみそ汁やスープなどを温めなおす時は、十分に加熱しまししょう。

●少しでも傷んでいると思ったら食わずに捨てましよう。

※お問合せ先

北海道保健福祉部保健医療局

健康安全室食品安全グループ

電話 011・204・5261

図書室が新しくオープン

7月1日、新しい図書室がオープンしました。役場本庁舎と消防署の間、これまで建設課が入っていた建物の内部をすっかりリニューアルして、とても気持ちのいい図書室が誕生しました。今年度、生活改善センターが取り壊されて多目的町民センターが建設されることから、図書室がこの場所に移転したのです。

図書室の内部はカーペット敷きです。ので、靴を脱ぎくつろいだ雰囲気です。ゆつくり本を探したり、座って子供に読み聞かせたりできるコーナーもあります。別室に、閲覧室も用意されました。各コーナーには、新刊コーナー



北方領土返還要求強調月間

わが国固有の領土である歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島からなる北方四島の早期返還の実現は、道民はもとより国民の長年にわたる悲願です。

この北方領土問題解決のため、これまで日露両国間で精力的な外交交渉が続けられてきていますが、北方領土返還要求運動が始まってから60年以上が経過した現在なお、領土返還への具体的な道筋は見えないままとなっています。

こうした国の外交交渉を積極的に後押しし、更なる道民世論の結集を図るため、旧ソ連邦が日本に対し宣戦を布告し、北方領土問題が発端した月である8月を「北方領土返還要求運動強調月間」と定め、道、市町村及び北方関係団体が連携し、一層強力に北方領土問題の啓発活動を展開します。

●期間は、平成21年8月1日から平成21年8月31日までです。

●喜茂別町では、8月5日、6日に、北方領土返還要求運動パネル展を、農村環境改善センターで開催します。強化月間期間中は、役場総務課と農村環境改善センターに、返還要求の署名コーナーを設置します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

※お問合せ先：役場総務課企画情報係

電話 33・2211

や幼児絵本、児童書、文庫本、料理や趣味の本、喜茂別足跡コーナーなど、工夫されたテーマ別のコーナーがいろいろあります。新しい図書館を、是非ご利用ください。

■開館日 毎週月～金曜日

■開館時間 午後2時～5時（第1・3水曜日は、葉読書サークルの協力で午後7時～8時30分）

■休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

■貸出期間 2週間以内

■貸出冊数 1人3冊まで

■本返却ボックス 役場入り口に設置（土・日・祝日・年末年始休み）（午前8時45分～午後5時30分）

※お問合せ先：教育委員会

電話 33・3306

エキノコックス駆除のペイト散布活動に、ボランティア参加しませんか

エキノコックスを駆除するため、キツネに虫下しを飲ませるペイト散布活動が、5月から11月まで毎月末に行われています。

町内の住民団体と趣旨に賛同する住民有志が協力し合ってこの活動を行っています。今後毎月1回行う予定のペイト散布活動に、多くの皆さんのご協力をお願いいたします。

※お問合せ先：総務課企画情報係

電話 33・2211

すくすく HAPPY BIRTHDAY 8月生まれ 1歳です

松橋 こころちゃん(留産)

平成20年
8月5日
生まれ



お父さん 正樹さん お母さん 久美さん
生まれて来てくれてありがとう。
元気に育って下さい。

佐々木 紅采ちゃん(緑町)

平成20年
8月28日
生まれ



お父さん 謙太さん お母さん 涼子さん
いつもニコニコ
元気で優しい子になってね♥

【戸籍の窓口】

お悔やみ申し上げます

6月26日 榎本 美枝さま(81歳) …… 本町

6月28日 熊谷 マス子さま(80歳) …… 旭町

7月15日 山田 耕治さま(74歳) …… 尻別

■編集後記

先月号に続き、「多様な自治の担い手」の現状と課題を考える特集の2回目です。「協働」を担っているさまざまな住民活動団体からお話をお聞きして、共通の課題が見えてきました。今後それぞれの団体が、単独のままでこれまでのように活動を継続できるかどうか。アウトソーシングも協働も、地域に担い手がいないと成立しません。共通する課題解決のヒントは、それぞれの担い手が互いに連携し、助け合いながら活動や事業を推進することでしょう。また、連携の相手は、地域外、町外の住民にも広がっていく必要に迫られそうです。地域間の広域連携による課題解決の可能性については、次回の号で取り上げます。(梅)

まちのカレンダー

救急当番病院 農村環境改善センター 鈴川集落センター 厚生クリニック ふれあい福祉センター
倶知安町文化センター 岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373 町民公園パークゴルフ場
喜茂別高校 喜茂別中学校 喜茂別小学校 鈴川小学校 喜茂別保育園
双葉克雪管理センター 町民プール

8/9日	わんぱく川下り9:00～(尻別川河川敷)/PG協会/パークゴルフ移動大会[京極町]9:00～(教育委員会前集合)/救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
10月	農心配ごと相談9:00～/ふれあい交流サークル10:00～/みんなの介護予防教室13:30～
11火	ふれあい交流サークル10:00～/運転免許法定更新時講習(一般10:30～違反13:00～ 優良15:15～)
12水	岩しりべし弁護士相談センター(事前予約)
13木	ふれあい交流サークル10:00～
14金	きもべつ夏まつり
15土	きもべつ夏まつり 救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
16日	PG協会/パークゴルフ月例会8:00～ 救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
17月	農心配ごと相談9:00～/みんなの介護予防教室9:30～
18火	ふれあい交流サークル10:00～/ 運転免許法定更新時講習(違反10:00～ 初回13:15～ 優良15:30～)
19水	ラジオ体操最終日/始業式/老人クラブ/パークゴルフ月例会8:00～/ 岩しりべし弁護士相談センター(事前予約)
20木	★回覧物配布日 おしゃべりクリニック9:00～/ふれあい交流サークル10:00～
21金	高全校集会/しらかば会10:30～
22土	救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
23日	救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
24月	農心配ごと相談9:00～
25火	おしゃべりクリニック9:00～/ふれあい交流サークル10:00～/ 運転免許法定更新時講習(一般13:00～ 違反14:15～)
26水	岩しりべし弁護士相談センター(事前予約)
27木	喜茂別町・北大連携【健康診断】8:30～ ふれあい交流サークル10:00～
28金	喜茂別町・北大連携【健康診断】8:30～
29土	救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141 蘭越診療所☎57-5424
30日	救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141 蘭越診療所☎57-5424
31月	農心配ごと相談9:00～/みんなの介護予防教室9:30～、13:30～/ 町民プールクローズ
9/1火	おしゃべりクリニック9:00～/ふれあい交流サークル10:00～/予防接種10:00～/ 運転免許法定更新時講習(一般10:30～ 違反13:00～ 優良15:15～)
2水	老人クラブ/パークゴルフ月例会8:00～/岩しりべし弁護士相談センター(事前予約)/ これから母親わくわくサークル14:00～
3木	☆広報9月号配布日 ふれあい交流サークル10:00～
4金	喜茂別神社祭典/スッパリ体操14:00～
5土	喜茂別神社祭典 救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141

町民まちづくり編集工房から

広報きもべつ「編集会議」にご参加ください!!

毎月「編集会議」を開催していますが、これは、町民ならどなたでも参加できる場です。もちろん意見を述べることも自由です。日時等はオフトークとホームページ、新聞等でご案内いたしますので、是非ご参加ください。

人口と世帯
(6月末日現在)
()は前月比

人口
男 1,268人(－2)
女 1,250人(－7)
合計2,518人(－9)

世帯数

1,237戸(+3)